



農業委員会が建議書を提出

本町農業の維持発展のため3項目



津金町長(左)に提案書を手渡す渡部会長(右)

町農業委員会の渡部^{いさお}功会長は12月3日、津金町長の元を訪れ、農業の維持発展に関する建議書を提出しました。

本町の農業を取り巻く厳しい情勢の打開策として提出されたのは、米価下落に対応した各種農業振興策を早急に講じることや遊休農地の解消に向けた国の支援事業に加えて、町独自の支援策を創設することなどです。また、環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)が締結されれば、本町農業のみならず、日本国内の農業が大きなダメージを受けるとして、協定締結阻止に向けた取り組みをすることを切に願うという項目も盛り込まれました。

防火・防災への誓い新たに

町消防団幹部らが出初め式



町民が安心して暮らせるように祈願しました

ことし1年の無火災、無災害などを祈願する出初め式は1月6日、町内の諏訪神社で執り行われ、町消防団幹部など約40人が出席し、玉ぐしをささげて町民の安全を祈願しました。

神事後、津金町長が「無事故、無火災と無災害を目指すため、皆さんの協力をお願いしたい」土屋^{たからこ}孝彦団長は「団員の減少など、消防団員を取り巻く環境は全国的に厳しくなっているが、地域住民の要望は高まっている。団員各位にも意識を新たにしていって頑張ってもらいたい」とあいさつ。

鈴木武喜^{たけき}町議会議員、小檜^{よしつぐ}山善継^{よしの}県議らが祝辞を述べました。

丸いだんごに願いを込めて

野口英世記念館で恒例のだんごさし



色とりどりのだんごを飾る翁島小学校の児童たち

翁島小学校の児童らは1月14日、野口英世記念館内の博士の生家で、小正月の伝統行事だんごさしを体験しました。

1年生と3年生の合わせて約30人が参加し、居間に設置された大きなミズキの木に、白、赤や黄色など色とりどりのだんごを飾りつけました。

同館の鬼多^{ひん}見賢^{けん}営繕課長が「白は純粋な心、赤はみんなが情熱を持って勉強に打ち込めるように、黄色には豊作祈願」とだんごの色ごとに込められた願いを説明すると、児童らは感心した様子でだんごを見つめていました。

縁起物などを求め長蛇の列

新春恒例の十三日市が開催される



例年よりも多くの買い物客でにぎわった商店街

新春恒例の初市「十三日市」は1月13日、本町・新町通り(中央通り商店街)で開かれました。よく天気が荒れると言われる十三日市ですが、この日は晴天。先着順の福袋に並んだ皆さんも町芸能保存会の太鼓演奏などに聞き入りました。

通りには起き上がり小法師、風車やだるまなどの縁起物や大判焼き、たこ焼きや焼きそばなどの露店が並び、多くの買い物客でにぎわいました。昨年末に販売されたプレミアム商品券で買い物をした人が応募できるお年玉プレゼント抽選会も開催され、地デジ対応テレビなど豪華賞品当選者の発表に会場が沸きました。

生前の功績をたたえ正七位

故小林さんが正七位を叙位される



位記を胸に抱く小林光子さん

昨年亡くなった故小林^{しゅうじ}修二さん(木地小屋^{しょうしちい})に正七位が叙位され、母、光子さんが報告のために町役場を訪れました。

生前、埼玉県警に勤務した小林さんは、13年に依願退職するまでの31年間に、数々の表彰を受けました。今回の叙位は、その功績が認められたものです。

報告を受けた津金町長は「本町から県外へ出て、このように活躍されたのは素晴らしいこと。ご家族にとって亡くなったのは残念だが、この位記を拝受されたことを誇りに思っている」と小林さんに話しました。

補助金の適正執行のために

町補助金等適正委が審議結果報告



津金町長(左)に審議結果を手渡す由井委員長(右)

町補助金等適正化委員会の由井^{ただゆき}忠幸委員長は1月7日、津金町長の元を訪れ、委員会の審議結果を提出しました。

審議結果では、①上部機関、下部機関とも町からの補助金を受けている場合、補助金の流れを精査し、明確な事業の運営に努めること②補助金に対して繰越額が超過している場合には、交付を見合わせる③補助金の積算根拠の精査④事業効果に結びつかない経費は補助対象経費として認めないこと⑤補助金の実績報告の内容について、厳密に調査をすることなどが指摘されました。

今後は、この結果に基づき補助金が調整される予定です。